

特別寄稿

国際観光の発展を支えるJATAとの協働

まず最初に、国連の観光専門組織である世界観光機関(UNWTO)とタレブ・リファイ事務局長に代わって、「ツーリズムEXPOジャパン2015」の開催をお慶び申し上げます。今年も世界から150を超える国と地域が参加するという事実は、非常に喜ばしいことであると同時に、JATAがこれまでにならぬ国際観光分野で果たしてきた重要な役割を反映するものであると考えています。

JATAが田川博己会長の強力かつ優れたリーダーシップのもとでアジア太平洋地域における様々な活動を展開していることに、UNWTOとしての謝意を伝えさせていただきます。また、昨今の田川会長がアジア・太平洋地域において対話と交流を重要視されている姿勢は同地域のツーリズムの発展に大きく貢献されていると認識しています。特に北東アジアにおいて推進されている韓国国際展示会(KOTFA)とのパートナーシップ協定締結、韓国旅行業協会(KATA)との連携により昨年12月に実現された韓国へのメガツアーや、今年5月に実施された

3000人規模の中国観光文化交流団の訪中における民間部門としてのサポートなどは、日本のツーリズム産業におけるJATAの積極的な役割を示すものにほかなりません。

アジアにおける国際観光は、急速に成長を続けています。2014年にアジア太平洋地域を訪れた国際観光客到着総数は2億6300万人に達し、域内における国際観光総収入は3770億米ドルを記録しました。世界全体の国際観光市場に占めるシェアは、それぞれ、23%と30%に及んでいます。日本においては到着客数が対前年29.4%増を記録し、北東アジア地域で一番高い伸び率となりました。

今年1月から4月までの4か月間における世界全体の国際観光客到着数は前年比4%増を記録して、国際観光需要が活発な動きを維持していることを裏付けました。世界のほとんどの地域で旅行者数は高い伸びを示しており、宿泊を伴う国際観光客到着数は3億3200万人に達し、昨年同期比で1600万人以上も増加しています。2014年の通年に

おける世界全体の国際観光客到着数は前年比4.3%増を示して、2010年からの平均伸び率も同4.5%増となり、国際観光における近年の増加基調が底堅いものであることを証明しました。

今年の「ツーリズムEXPOジャパン」のテーマである「動く。感じる。旅」になる。は、ツーリズムにおける基本的かつ必要不可欠とも言える知覚的経験をアピールするものでもあると思います。

ツーリズムが産業として社会経済的事象をリードしていくためには、地域社会を含めたツーリズムに関わる全ての関係者が、旅行者にデザインেশョンを訪れてみたいという動機をもってもらえるように協力しなければなりません。この全ての関係者による協力は、ツーリズムを持続可能で競争力のある産業とするというUNWTOの目的とも合致するものです。

UNWTOとJATAがパートナーシップ協定に調印してから2年が経過して、大きな成果も収めています。2014年には「ツーリズム産業に関わる12の著名かつ傑出した日本の団体が、UNWTOの世

界倫理憲章に調印しました。さらに、今年から新しい形でスタートする「ジャパンツーリズムアワード」では、UNWTOとのコラボレーションによる「UNWTO部門賞」(国際部門として、「レスポシブルツーリズム」)、「社会的な責任を果たすツーリズム賞」という表彰部門も設定されることになっています。

UNWTOとJATAは、それぞれの会員の今日的なニーズに応えるとともに、日本政府によつて進められている観光立国の施策を支えるために、相互の協力と共同プログラムの実施を通じた協働を進めていかなければなりません。この協働が目指す目標は、ツーリズムの役割を高め、ツーリズム産業が経済的に有用で、社会的にも責任を果たし、環境面でも持続可能な貢献をできる

ように、その発展を促すことにあります。

「ツーリズムEXPOジャパン2015」開催期間中の9月27日は、世界観光の日でもあります。「ツーリズムEXPOジャパン2015」に集まる全ての参加者に、国際観光に関わる人々が祝う、世界観光の日を知っていただき、10億人の旅行者に10億の機会(One billion tourists, one billion opportunities)という今年のテーマについても認識を深めていただきたいと考えています。2014年に11億3500万人に達した世界の海外旅行者数について、UNWTOでは、今年も前年比3.4%増の伸びを示すものと予測しています。周知の通り、ツーリズムは世界的な規模で成長を続けると同時に、地域社会や地元産業に社会経済的な発展の促進や雇用の創出といった機会をもたらしています。世界観光の日を今年も日本で祝えることを、大変に幸せに思っています。

今後、ツーリズムの持続可能な発展に向けてUNWTOとJATAのパートナーシップをより強固なものにしていくと共に、「ツーリズムEXPOジャパン2015」のご成功と日本の観光業界の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。皆様と東京でお逢いすることを楽しみにしております。

国連世界観光機関(UNWTO)アジア太平洋地域部長

スー・ジン



UNWTOとJATAがパートナーシップ協定に調印してから2年が経過して、大きな成果も収めています。2014年には「ツーリズム産業に関わる12の著名かつ傑出した日本の団体が、UNWTOの世

界倫理憲章に調印しました。さらに、今年から新しい形でスタートする「ジャパンツーリズムアワード」では、UNWTOとのコラボレーションによる「UNWTO部門賞」(国際部門として、「レスポシブルツーリズム」)、「社会的な責任を果たすツーリズム賞」という表彰部門も設定されることになっています。

UNWTOとJATAは、それぞれの会員の今日的なニーズに応えるとともに、日本政府によつて進められている観光立国の施策を支えるために、相互の協力と共同プログラムの実施を通じた協働を進めていかなければなりません。この協働が目指す目標は、ツーリズムの役割を高め、ツーリズム産業が経済的に有用で、社会的にも責任を果たし、環境面でも持続可能な貢献をできる

ように、その発展を促すことにあります。

「ツーリズムEXPOジャパン2015」開催期間中の9月27日は、世界観光の日でもあります。「ツーリズムEXPOジャパン2015」に集まる全ての参加者に、国際観光に関わる人々が祝う、世界観光の日を知っていただき、10億人の旅行者に10億の機会(One billion tourists, one billion opportunities)という今年のテーマについても認識を深めていただきたいと考えています。2014年に11億3500万人に達した世界の海外旅行者数について、UNWTOでは、今年も前年比3.4%増の伸びを示すものと予測しています。周知の通り、ツーリズムは世界的な規模で成長を続けると同時に、地域社会や地元産業に社会経済的な発展の促進や雇用の創出といった機会をもたらしています。世界観光の日を今年も日本で祝えることを、大変に幸せに思っています。